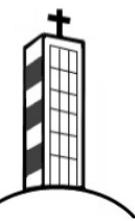


月報

N.O. 730 1月号

なんざん



2026年1月10日（土）発行

カトリック南山教会

名古屋市昭和区南山町1 TEL (831) 9131
URL <http://nanzankyoikai.net> FAX (836) 2253



2025年12月21日 75周年記念ミサ後の集合写真

新年2026年明けましておめでとうございます。今年も希望、そして新たに挑戦し、その実現に向けて努力しながら日々の糧である祈りを大切にし、笑顔、喜び、何事にも神様の恵みと聖霊の導きを見出す一年でありますように祈り申し上げます。

新しい年を迎えるにあたって、昨年を振り返ってみましょう。2025年は私たちの教会共同体にとつては神様の恵みと聖霊の導きを体験できた年でした。特に、聖年の年を迎えて、聖年の祈りを唱え、指定巡礼教会への巡礼などを行い、教皇フランシスコが制定された聖年の年を祝うことができました。同時に神言修道会においても150周年の節目の年でした。そして、南山教会75周年という節目の年を迎え、様々な行事計画をして、12月に盛大な記念ミサを執り行い、国と文化を超えた共同体の一員として430名と一緒にこの記念ミサに与り、ともに祈りをし、お互いの信仰に勇気づけられ、励まされたのではないでしようか。聖霊の導きを信じ、皆様のご協力の中でできた大きなイベントでした。

2026年に向けてこの75周年記念ミサで確認し、励まされた信仰共同体のあり方をお互いの協力と積極的な参加によってさらに豊かにしていけるよう心がけましょう。

今年から、さる75年間教会の歩みをともにしてくださった司祭、信徒に感謝しながら100周年に向けて、開かれた共同体、平和を語る共同体、祈りを大切にする共同体、誰も孤独を感じない共同体、お互いに許し合う共同体、シリティのもとで行動する共同体を築きあげましょう。

教皇フランシスコは、現代社会においてキリスト者が迷うことなく信仰の旅路を歩み続けるために、二つの大切なことを提示されました。一つは、シノドスの歩みであり、もう一つが、25年に一度の聖年の機会を捉えて、キリスト者が希望を掲げて歩みを続ける巡礼者であり続けようという呼びかけでした。私たちの信仰は共同体の中で育っていくものです。つまり教会とはみんなで一緒に教会共同体を作り上げるお互いの信仰を励まし合う神の民の集会です。お客様のようにミサに与るだけでなく、教会の行事活動と一緒になつて参加し、共同体を育てるためにお一人お一人の力と助けが注がれることをシノドス的教会というのです。聖霊の導きのもとで、互いの尊厳を尊重し護りながら、耳を傾け合い、助け合い、祈りをともにし、国、文化を超えて、次の100周に向けて歩みましょう。

主任司祭 ビジュー・キシャケール

平日のミサ時刻：

月曜日・水曜日・木曜日・土曜日 午前7時
第4土曜日 午前10時30分 子供のミサ(ナザレ館)
火曜日 午後7時
金曜日 午前10時 初金曜日 午後7時
ゆるしの秘跡は各主日ミサ前に受けすることができます。

主日のミサ時刻：

土曜日 午後5時 (ミサ前、4時30分聖体贊美式)
日曜日 午前8時・10時
Sunday Mass in English 9:30 am
(in the Marian Hall)
ベトナム語のミサ 第4日曜日 午後2時

ジユリアーノ 古畠佑季
マグダレナ・ソフィア・バラ

古畠佑季
ア・バラ
古畠春香

私たちには南山教会75周年記念ミサの中でミカエル松浦悟郎司教より堅信の秘蹟を授かりました。この大きな喜びの日を、フランシスコ・エスカランテ・モリーナ大司教様、パウロ成井大介司教様、ビジュ神父様をはじめとする多くの司祭による共同司式ミサで迎えられたこと、また、南山教会信徒の皆様に温かく見守っていただけましたことは大きな喜びです。

真の信徒となつたことを感じました。堅信式までの勉強会では、教会の七つの秘跡についてや、その教会の働きを一つ一つ詳しく学んでいきました。今まで教会は、ミサをしたり、お祈りをしているところだと思いました。その教会では一つ一つ役割があつたり、学ぶことがたくさんあり、教会について新しく認識しました。そして、堅信式を受け真の信徒になつた喜びとともに、さらに祈りと教会について信仰を深めたいです。

ヨゼフイー・バキタ 田島ゆき
堅信の秘跡を受けてほつとしていると同時に、これから「宣教」という役割が加わると思うと、責任がより重くなつたように感じます。私のやり方でというのが一番だとは思いますが、これからは私生活と両立できるようなかたちを考える必要があるかなと感じます。準備の講座は休まずに出席し、逆にリハーサルだけどうしても動かせない予定で休み、当日に詳細を知りました。また、後方の席で大変助かりました。

堅信準備の勉強会を通して、神への信頼と証しする責任、そして一人ひとりに与えられる聖靈の賜物について学びました。これからも私たちが神の道具として働き、日常生活の中でキリストを証ししていきますように、聖靈の御助けを心から願い求めたいと思います。南山教会のすべての皆様と、私たちが所属するオペラ・ディ・ナザレの共同体に感謝し、いたお恵みを心に刻み、キリストと共に喜びの内に歩んでいきたいと思ひます。

南山教会共同体の皆様、教会創立七十五周年おめでとうございます。

聖年の年にも重なり、フランシスコ教皇のご逝去、新教皇レオ十四世ご就任と、幾重にも記憶に残る2025年に洗礼と堅信の秘跡を授かり、夫婦共々喜びに満ちております。

松浦司教様の温かい眼差し、大きな包容力に感服し、眞に共同体の一員になれた気がします。

司教様、司教団の皆様にお導きいただき、日々祈り、信仰を深めていきますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

堅信式を迎えるまでの間のことですが、祈りはとても大事なのだと改めて実感しました。時折忘れがちな私ですが、簡単な祈りだけでも続けていこうと思います。祈ることで、神様との絆がさらに深くなっているように思います。正直に言えば、神様がいるから私自身正気を保てているように感じます。

最後になりますが、より大きくくなつた責任を果たすべく、努力を重ねてまいります。そして、堅信式当日に声をかけてくださつた皆様ありがとうございました。これからもよろしくお願ひいたしま

ハ ヘラン

During my Confirmation journey, I learned many things that helped strengthen my connection with God. At first, I didn't fully understand what confirmation was or nervous during our first lesson because everything felt new to me.

Thanks to the Sister and the priest , I was able to learn so much more about Catholicism, including the seven sacraments, how the Church works , and the different roles within the Church community , Confirmation was more challenging than I expected , but because it went into much more detail than what I learned during my First Hdy Communion , it became more meaningful and engaging. I found this experience very interesting , especially learning new things that I had never known before.

It was truly an honor for me to receive my confirmation at Nanzan Church, especially during its 75th anniversary our priest, Sisters, and teachers, for helping and supporting me throughout this journey. From now on, I want to take my responsibilities more seriously by praying regularly, helping others, and continuing to strengthen my relationship with God.

○東京大司教区 巡礼記（11月）

八王子教会 大川 隆

スは閉鎖された女子修道会から譲り受けたこと、聖堂が古くなつた

ミサ前の諸聖人の連祷から始り、ミサ後の祈りまで2時間半ほど、

典礼「ロメモ」香部屋の窓から
第88回 「共同祈願」のお話

など説明を受け、最後に巡礼者の祝福をいただきました。

して教皇のために祈りました。

高尾山で有名な八王子市は、大學・短大が多くある文教都市で多摩地区の拠点です。1950年に献堂された聖堂は、来年建て替えが計画されており、現在の聖堂での巡礼が今年度最後となるそうです。敷地内に幼稚園が併設されおり、子供たちがルルドのマリア様の前で祈る姿が目に浮かびます。

A photograph of a church building with a light-colored, possibly stone or concrete, exterior. The building features a prominent cross on the roof above the main entrance, which is a large, pointed-arched opening. To the left of the entrance is a smaller, arched window. The building is surrounded by some greenery, including a small hedge and a few trees. In the background, there is a multi-story residential building with a grey facade and many windows. The sky is overcast with white clouds.

The image shows the interior of a church. In the center, a tall wooden crucifix stands on a white-clothed altar. The ceiling is dark wood with several white, spherical pendant lights. The floor is red carpet, and wooden pews are arranged in rows facing the altar. A statue of the Virgin Mary is visible on the right side. The left side shows a window and a wooden pulpit.

さて、今回から次回にまたがつて共同祈願についてお伝えします。参考になさっていただければ幸いです。

○東京大司教区 小平教会
(11月)

(11月2日)

教会事務所の榎原さんの出身教会である小平教会を訪ねました。小平教会は無原罪の聖マリアに捧げられた三角屋根の教会で、木のぬくもりを感じる祈りの場です。主任司祭からは、かつては幼稚園が併設されていたが閉園になつたこと、聖堂の珍しい二人掛けのイ

主催の「教皇レオ14世のために祈る」莊厳司教ミサに与りました。主司式は菊地枢機卿、共同司式は神言会マーティン神父を含む10名ほどの司祭により捧げられました。12年ぶりの参加で、グレゴリオ聖歌・ラテン語によるミサの莊厳さを味わうことができました。

のために神に祈りをささげる。
と表記しています。

第二バチカン公会議を受けて実行された典礼刷新によつてミサなどに“共同祈願”という祈りが導入されました。原型は聖金曜日の主の受難の祭儀の盛式共同祈願に見られます。ミサにおける共同祈願はその基本的構造を擬固し更にシンプルになつています。

総則94では「助祭がいるとき、助祭は意向を唱える」ことになつて下さいます。意向を唱える人の数は必要な限りは増やさない方が良いです。インターナショナルミサなど複数の言語を使うときは会衆の呼唱を一つの言語、共通の言語に統一することを考慮する努力が求められます。そうでなければ本当に統一することを考慮する努力が求められます。そこで、次に一致のしるしである典礼の意味が薄らいだり損なう恐れがあるからです。また、殆どの場合、意向を受けて会衆が呼唱しますが、場合によつては聖金曜日の典礼のように沈黙を持つことでもできます。

基本的な構造は、初めに司祭が招きの言葉を唱えると先唱者が意向を唱え、会衆がその意向のために祈る。この形を繰り返したのち司祭の祈りで結びます。興味深いことですが、先唱者が唱える言葉は意向であつて祈りではありません。ということです。であるから尚のこと「解り易く簡潔」であることが大切です。主日のミサで使う「聖書と典礼」に載せられた文章は例文でありながら模範的な意向文です。

また、共同祈願の意向は①教會の必要のため。②国政にたずさわる人々と全世界の救いのため。

教会学校クリスマス劇 12月14日



困難に悩む人々のために。④現地の共同体のために。という順番で唱えるように指定されています。それで私たちは特別な意向で捧げたり、儀式を含む主日のミサでは「4つ目の祈り」と呼んで意向を作れる機会があります。そこで、次回はこの意向文を作るにあたつて守るべき約束事や、より滑らかに祈るための工夫を紹介します。

堅信式 12月21日



創立 75 周年 記念ミサ



司祭団より

75周年記念ミサ等について

1月4日

12月7日9時半のミサを神言神学院の典礼奉仕によつてお捧げした。この日の献金を神言神学院にお送りした。

3. 教会学校クリスマス劇(教会学校)
12月14日10時ミサ後に行われた。
4. 75周年記念ミサについて(主任司祭・典礼委員長)
12月21日に松浦司教様の司式で行われた。ミサの中で堅信式も執り行われた。新潟教区の成井司教、教皇大使のフランシスコ・エスカラント・モリーナ大司教もお迎えした。歴代の主任司祭として、パウロ師、ブルム師、また、エマン師、アルバ師、神学院のジップル師も共同司式をしてくだ

5. クリスマスミサについて（主任司祭・典礼委員長・ヨセフ会）
12月24日日17時と19時、25日10時のミサが捧げられた。入堂の際に子どもたちによるロウソクの奉納が行われた。駐車場不足に対する応するため、男子部の駐車場を借りた。17時と19時の間で車の出入りが多く、安全と整理の為に赤灯の必要性を感じた。
平日であっても17時には約230名、19時には360名、25日の10時は210名の参加があった。
今年は12月に神学院養成用と75周年記念の2つの献金封筒を置いたため、クリスマス献金封筒を準備

信徒協は 2026年3月3日
をもつて休止することが役員会の
承認を得た。感謝ミサは、2月11
日(水) 13時より布池カテドラルに
て松浦司教様司式の下で執り行わ
れる。参加可能な方と信徒協に関
与した方の参加を希望する。詳細
については、聖堂玄関に掲載され
る予定です。

月みんなで掃除する日を設ける方向を探りたい。現在第2日曜日に外の清掃を行つてゐるが、その掃除の区分けに聖堂と聖堂横、トイレも組み込めば合理的では、との意見があつた。ヨセフ会にて検討してみる。教会の活動として進めていき、みんなが参加するものとしていきたい。

3. 予算について（財務委員長）

25年度の收支計算書をもとに確認が行なわれ、26年度の予算は収入が37、230千円、支出が36、490千円、収支は740千円の黒字で計上した。

1月1日新年平和ミサ・成人の
お祝い、1月4日評議会、1月16
日マリア会新年会、1月18日ヨセ
フ会新年会、1月中に75周年記念
誌発行、2月18日灰の水曜日。

によりパーティーが行われた。堅信のお祝いもできた。(記念品は350名分を準備したが、足らなかつたため、聖歌隊や司式司祭、踊りの方々、その他のために10人分を28日に準備し、配布し終わった。)

わ願いでる前に詰詠会で研詠し
評議員の総意として信徒にお知ら
せし、信徒の理解をいただく。
伐採する対象の木を、地図とイラ
ストとともに事前に掲示してほし
いという意見があつた。

2. 大聖堂やトイレなどを毎月みんなで掃除する日を設ける件
(司祭団、當緒委員会)

また、世代を超えて多くの方が参加していただくためにこれから大聖堂や聖堂横トイレなどを毎

6. 教会の設備について（營繕委員会）

会にて検討する。信徒代表の任期満了の3月に、本会の議を経て、主任司祭が任命する。その任期は2年とする。再任を妨げない。但

イエス、マリア、ヨセフ、あなたがたのうちに、まことの愛の輝きを見、信頼を込めてあなたがたにゆだねます。

ナザレの聖家族よ、わたしたちの家庭をも交わりの場、祈りの高間、福音のまことの学びや、そして小さな家庭の教会として下さい。

ナザレの聖家族よ、家庭の中で決して暴力も排除も分裂も起ることがありませんように。

傷ついた人、つまずいた人が皆、直ちに慰められ、いやされますように。

ナザレの聖家族よ、わたしたち皆が、家庭の不可侵な生活と、神の計画におけるそのすばらしさを自覚することができますように。

イエス、マリア、ヨセフ、わたしたちに耳を傾け、私たちの願いを聞き入れてください。アーメン

信者の消息

帰天

神の栄光にあずかれますように

ヨゼフ 武者 孝信（89歳）
チェチリア 打田 佐智子（94歳）

受堅者名簿

クララ	いとう 伊藤 美聰
ヨゼフ	はぎわら 萩原 維人
クララ	ハ ヘラン
十字架のヨハネ	さとだ 里田 初穂
ソフィア	わたなべ 渡辺 啓子

マグダレナ ソフィア	バラ	ふるはた 古畑	はるか 春香
レオ		わたなべ 渡辺	ひろゆき 弘幸
ジュリアーノ		ふるはた 古畑	ゆうき 佑季
マリア・ガブリエラ		ふくだ 福田	けいこ 恵子
ドミニコ		トラン リナム	
ヨゼフィーナ・バキタ		たじま 田島	ゆき
ヨゼフ		チャン ミン	ヒエウ
マリア		グエン タン	トウイ
マリア		グエン ティ	カム
マリア		トラン ティ	
		トウイ リン	

2026年1・2月行事予定表

	教会典礼暦	南山教会行事	各会活動	教区行事・その他
1月	1(木)神の母聖マリア・世界平和祈願日 4(日)主の公現 11(日)主の洗礼	1(木)10:00新年平和ミサ・成人式 管区に予算書提出	10(土)典礼委員会 4(日)小教区宣教司牧評議会 11(日)教会学校・中高生会始業式 16(金)マリア会新年会 (土)子ども部屋 (土)要約筆記付きミサ 18(日)ヨセフ会新年会 18(日)教会学校餅つき	1(木)世界平和の日 17(土)レジオマリエ名古屋クリア新年会 18(日)~25(日)キリスト教一致祈祷週間 18(日)新成人を祝う新年の集い 25(日)世界こども助け合いの日(献金)
2月	(金)主の奉献 18(水)灰の水曜日(大斎・小斎) 22(日)四旬節第一主日	日)10:00堅信式・日英合同ミサ 18(水)灰の水曜日ミサ 22(日)洗礼志願式	(金)マリア会例会(懇談会) (土)典礼委員会 (日)小教区宣教司牧評議会 (土)子ども部屋 (日)ヨセフ会班長会・新年会 (土)要約筆記付きミサ	1(日)宣教司牧評議会 7(土)殉教者祭(榮國寺)(高山右近) 21(土)レジオマリエ名古屋クリア 18(水)~四旬節愛の献金(四旬節中)